

大牟田市立天領小学校
学校通信
令和5年9月26日
14号(文責:校長)

ムクロジ



運動会に向け、頑張っています！

10月14日(土)は「運動会」です。今年の運動会のプログラムは午前中で終わりますが、全校児童が運動場に集まります。子供達同士での応援がきっとお互いの力になることでしょう。競技内容については、昨年度の走と表現に紅白競技を加えました。熱中症対策として、紅白競技を増やしても練習時間が多くなりすぎないように、1, 3, 5年生が綱引き、2, 4, 6年生が玉入れを行うようにしました。競技のイメージが持ちやすいので練習も少なくすみ、競技時間も短いからです。また、綱引きや玉入れを経験したことのない子供達もいますので、競技を大いに楽しんで欲しいと思います。

先週は代表委員会でスローガンを決めました。みんなで意見を出し合い、決まったスローガンは「全員主役だ!~笑顔で輝く運動会~」です。とってもステキなスローガンになったと思います。きっと本番は、主役の子供達の笑顔が輝くことでしょう。14日は、保護者のみなさんの熱いご声援をよろしくお願いします。



溝上のつぶやき・・・No.7

私はよく子供達から「校長先生は、虫や生き物を触れてすごいですね。」と言われます。トンボが校舎内に入り、窓の側でバタバタしていたある日のことです。優しい子供達が、トンボを逃がしてやりたいけれど触れず困っていました。たまたま通りかかった私に、「トンボを触れないのでどうしたらいいですか・・・。」と言ってきたので、手で捕まえて外に逃がしました。「うわあ、校長先生。トンボを手で触れるなんてすごい!」と子供達に褒められてちょっと良い気分。でもそれからでした。「校長先生、アサガオの葉っぱに大きな青虫がいます。」「校長先生、運動場に猫が迷い込んでます。」「校長先生、スズメが死んでいます。」等々。まるで、生き物係です。子供達のSOSの度に生き物を触る私の姿から、虫や生き物に強いイメージができたのでしょうか。

私自身も、「なんで自分は、こんなに生き物に触れるのかな?」と考えてみました。それはやっぱり子供の頃の経験からでした。自然の中で育った私の周りには、当たり前のように虫や生き物がたくさんいました。セミやカマキリ、バッタにホタル、トカゲにカエル…。朝早くからカブトムシやクワガタを捕りに行ったり、スズムシを飼ったりしたこともあります。近くには浅い川があり、ドンコを手ですくったり、網で小魚を捕ったりもしました。湿地ではザリガニつりもしたなあ。改めて昔を思い出すと、自分の遊びの中には虫や生き物がたくさん登場してきました。

身の回りの自然からも大きな影響を受けた気がします。山に入って友達と一緒に秘密基地を作るのが大好きでした。秘密基地作りでは、木に絡まっているツタを取り、それを紐の代わりに使いました。秘密基地が出来たら、山に生息しているアケビを取り、友達と一緒に食べました。まるでサバイバルをしているようで、自分はどこでも生きていけると、とんでもない勘違いもしていました。木登りも大好きで、高い木の上から夕焼けで染まってく空をずっと眺めました。登る時は早く木の上に行きたくて夢中で登ったのに、いざ下る時は高さを感じ、落ちる恐怖と闘いながら一步一步下りていった記憶もあります。

こうして自分の子供の頃を語ると、「ザ・昭和」な感じは否めません。でも、物はなかったけれどたくさんの経験ができた分、心は豊かだった気がします。時代は変わり、昔と同じようにはできませんが、お家の方が見守る中では、ぜひ子供達にたくさんの経験をさせてほしいと思います。体を使い、肌で感じるリアルな経験をたくさんさせてください。きっと一生の宝物になると思います。子供の時代はあっという間に過ぎていきます。この子供という黄金時代をかけがえのないものにしていただけたらと願っています。

